

Gesuido Joshi Journal

GJ Journal

下水道分野で働く女性のマガジン

2019

冬号

Winter

Vol.19



特集
川崎市

OPEN目前!

入江崎水処理センター広報施設

『ワクワクアクア』をレポート



02 | GJ PhotoSnap

07 | GKP HOTNEWS
国土交通省からの愛のメッセージ

03 | 【特集 川崎市】
OPEN目前!
入江崎水処理センター広報施設
『ワクワクアクア』をレポート

08 | GJ Column
見つけちゃった!下水道あんなニュースこんなニュース
地下カンを流れるよもやま話
よろずマンホール



GJが街で気になったことや 話題のモノを写真で紹介します。

台湾のかわいいマンホールふた



◀台湾と言えば、映画「千と千尋の神隠し」のモデルとも言われている九份(きゅうふん)ですね!



▲台北市内でかわいいデザインのマンホールふたを見つけました!漢字で書かれているので汚水か雨水か、すぐ分かりますね。「北雨水」は「台北市の雨水」という意味でしょうか?

かほく市ARマンホールふた



▲数年前にかほく市に設置されたARマンホールふた。ようやく見に行くことができました。写真はふたのみですが、専用のアプリをスマートフォンにダウンロードし、ふたの画像を読みこませると、AR画像を見ることができます。この感動は現場に行かないと味わえない!

おまけ



鉄道ファンの中で身近な秘境駅と言われる、JR鶴見線の海芝浦駅に行ってきました。駅に到着すると目の前が海!また、駅を降りると小さな公園があり、東京湾と京浜工業地帯を眺めることができます。工場萌えの女子にはオススメです!

「GJリンク」とは

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同僚がいない、ロールモデルとなる先輩女性がない等の悩みをもつことも多いようです。

そこで下水道広報プラットフォーム(GKP)内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会(愛称:GJリンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。

GJ Journal Vol.19 2019 冬号 (2019年2月発行)

発行 : 下水道広報プラットフォーム(GKP)
編集 : 冬号編集委員会
景山 麻美(川崎市)
加藤 えりか(川崎市)
竹下 智子(川崎市)
星野 徳重(川崎市)
和地 妙(川崎市)
カッピー(川崎市)
GJリンク事務局
下水道広報プラットフォーム(GKP)事務局
(公社)日本下水道協会広報課
デザイン: 株式会社紙藤原

※「私の下水道」、「地域別特集」および「編集委員」に記載されている所属は2019年2月末時点の所属です。

特集
川崎市

OPEN目前! 入江崎水処理センター広報施設 『ワクワクアクア』をレポート

『ワクワクアクア』はここです!



入江崎水処理センター沈砂池管理棟

神奈川県で最も歴史のある下水処理場である入江崎水処理センター。このセンターの西系水処理施設は、稼働から50年以上が経過し老朽化が著しいため、平成15年から再構築事業を開始しました。再構築事業では、水処理センター全体の監視制御などを行う沈砂池管理棟や新しい西系水処理施設の建設を進めてきました。

これに合わせ、沈砂池管理棟4階に新たな広報施設も建設されました(上写真の最上階部分)。見えない下水道を実際に「見る・体験する」ことができるという広報施設『ワクワクアクア』は、平成31年4月オープンです!

レポート現場



川崎市は神奈川県の北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接しています。人口は151万人で、日本の大都市の中で最も人口増加率が高く、平均年齢が若い、活気に満ちたまちです。



今回のリポーター

今回の特集は、新たな広報施設をどこよりも早く、かわさきGJ3名(4名?)がレポートします!



カッピー

所属:川崎市上下水道局
現在の担当:川崎市の下水道マスコットキャラクター

誕生してから27年、下水PR一筋です!!川崎市ではステキGJがいるいろいろな下水現場で活躍しているよ!これからも、たくさんのGJと一緒にいっぱいお仕事したいな~♪

↑今回カッピーの中の人は美人GJです(^.^)/

和地 妙

所属:入江崎総合スラッジセンター
現在の担当:スラッジセンターの維持管理、汚泥分析業務

前職はめっき会社で研究開発をしていました。下水道へ流す側から下水道を管理する側へと仕事が変わり、もう10年以上経ちます。

趣味は飲みニケーション!お酒はたしなむ程度(?)ですが、みんなでわいわいするのが大好きな元気GJです。

景山 麻美

所属:下水道管路課(本庁舎)
現在の担当:下水道管まよの設計積算関連業務

下水道の仕事は3年目となります。土木職員として下水道の設計業務は学ぶことが多く、先輩職員に教わりながら日々勉強中です!パソコン作業が多いので現場に出て下水道工事の監督業務も今後経験していきたいです。

星野 徳重

所属:入江崎水処理センター
現在の担当:水処理センターの水質管理、試験業務

今年度は新施設の立ち上げ(新西2/2系)など、貴重な機会に立ち会えました!この経験はこれからの仕事にも活きると思います。

水処理センターは敷地が広いので、ダイエットにはもってこいとひそかに思っています。



かわさき下水道広報施設

ワクワクアキュア

W A K U W A K U A Q U A

をのぞいてみよう〜♪

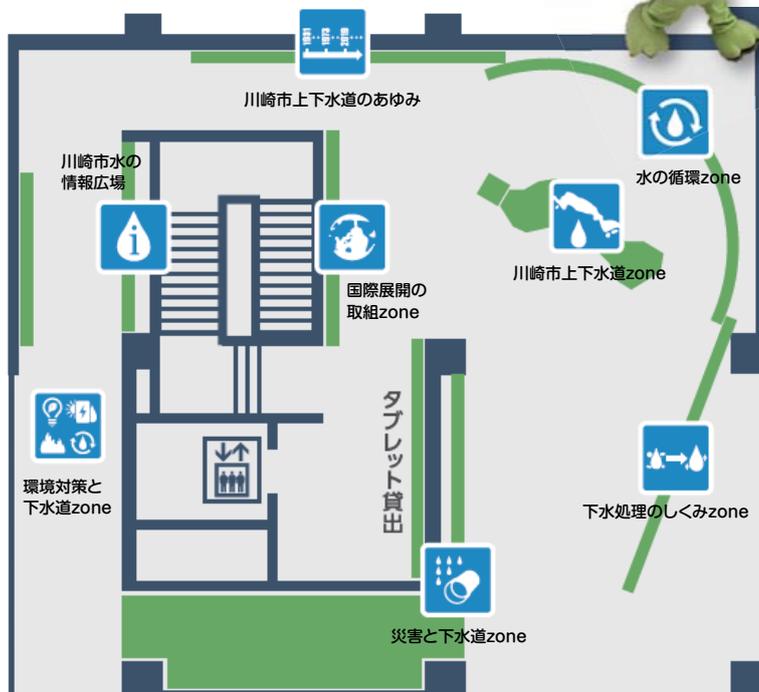
コンセプトは「見えない下水道を探り水環境を考える」。
きれいな水を自然に還すために、下水道が果たす役割や大切さを楽しみながら理解してもらう展示になっています。

目玉はAR(拡張現実技術)によるバーチャル体験!水の循環、下水道の仕組みや浸水対策など6つの体験ができます。何もない図や写真をタブレットでのぞくと…あら不思議!あたかも自分が下水道施設の中にいるような体験ができます。

ARとは…「マーカー」となる図案等をタブレットカメラで認識し、3次元的な位置を推定してタブレット画面上にCGや画像を重ねて表示する技術のことです。マーカーは、QRコードや写真、イラストなどを用いることができます。



1月30日、入江崎水処理センター西系再構築事業の完成式典の中で、広報施設の名称が「ワクワクアキュア」と発表されました。水のことをワクワクしながら楽しく教えてくれるところ、という思いが込められています。式典では、市長から名付け親の伊藤さんに表彰状が贈られました。



水の循環zone



自然界をめぐる水の循環、水の旅がよく分かるね〜。

川崎市の上下水道zone

こんなところにGJが! ①

大師河原貯留管の現場見学会で小学生を案内するGJ



▲工事現場近くの小学生を対象に、貯留管の中を案内しています。



川崎市の地図(床地図)をタブレットでのぞいてみてね〜。上下水道施設の配置や水の流れが見えるでしょう。





国際展開の取組zone



水道や下水道の普及率など世界の
水環境を知ることができます!



下水処理のしくみzone



アニメーションで下水処理の仕組みを教
えてくれます。
下水処理を知らない人にも、とっても分か
りやすい!



環境対策と下水道zone



この展示室の窓から見える、太陽光
パネルの電力利用状態も見るこ
とができます!ほかに省エネや創エ
ネ、処理水の有効活用についても紹
介していますよ。



災害と下水道zone



貯留管の内部が360度、
ぐるっと見渡せるよ。



には...



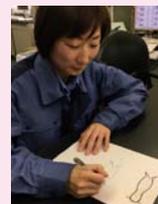
水処理施設は、道
路を挟んだ反対側
にあるので、道路
下の管廊を通過して
移動するよ。

今どこ?なんてこ
とが起こらないよ
うに、現在地が確
認できるサイン。広
い水処理センター
は迷路のようなの
で、これらとても
ありがたい!



見学場所には、デジタルモニターが
あって、分かりやすいね!

こんなところにGJが! ②



広報誌
「かわさきの上下水道」の記事
「微生物シリーズ」で微生物の
イラストを描くGJ

本当に手書きです...

下水道豆知識 ~微生物シリーズ④~

下水処理場に流れてきた下水がきれいになるのは、たくさんの微生物た
ちのおかげです。そこで、どのような微生物が下水中の汚れを食べてく
れるのかをご紹介します。

カエトノツス (和名 イタチムシ) *Chaetonotus*

体長は0.2mm程度で、頭は丸みがあり、首はくびれ、脚
は太いです。また尾部は二つに分かれています。体全体
に毛があり、滑るように動きます。口付近の毛を使い、
小さい微生物や藻類を食べます。



形がイタチに似ているので、
イタチムシと呼ばれるよ!

下水道水質課 ☎044-200-2878 図044-200-3980

私の下水道 My Gesuido

川崎市内の工事現場などでは、
民間企業の女性たちも大活躍しています！

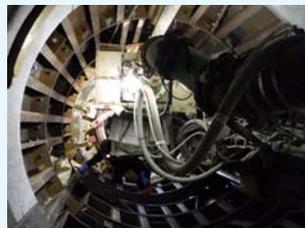


田口 七生

所属：前田建設工業株式会社
現在の担当：シールドトンネル工事の施工管理

前田建設工業に入社して3年目になります。会社に「シールド工事がしたい！」という希望を出し、2年目に今の川崎市の現場に配属されました。普段は皆さんの見えないところで作業していますが、多くの人の生活を支えているこの工事にやりがいを感じています。

業務を通じて、まだまだ男性社会のこの業界で、「私の役割はなんだろう？」ということを中心に考えています。自分の個性を活かして、現場の雰囲気づくりに貢献できる緩衝材のような存在になりたいです。



掘進とセグメント組立が1サイクル



順調に施工が進んでいます



子ども達に建設の魅力を伝える活動もしています



佐藤 愛澄

所属：JFEエンジニアリング株式会社
現在の担当：下水処理場の設計・試運転

JFEエンジニアリングに入社以来、下水処理場の設計を担当しています。学生時代、水処理について学んでいたため、希望しての配属でした。入社2年目からは、川崎市の下水処理場の設計・試運転を担当しており、鶴見の本社と川崎の現場を行き来しています。特に、試運転は力仕事も多く、大変に感じることもありますが、無事に設備が立ち上がったときは、その分達成感も大きいです。ここでの経験を、今後の設計に活かして頑張ります。



事務所の中では設計を担当しています



試運転時は水質測定や機器の動作確認を行います



時には力仕事も！



朝はもちろんラジオ体操から



下水道駅伝2年ぶりの優勝ならず…でも大健闘の3位！

こんなところにGJが！ ③

職場体験研修で中学生に水質試験を教えるGJ



▲近隣の中学生を対象に、水質係や操作係の業務を体験させます。作業着も着用し、気分は公務員です…かね。

活動報告

未来会による活発な学生リクルート ～約500名の学生へ下水道の魅力を発信!～

「下水道を未来につなげる会(未来会)」は、下水道の魅力を「学生」に発信することで、「未来の下水道パーソン」を発掘していくなど、リクルート強化策に取り組む国、自治体、民間企業の若手・中堅職員を中心としたチームです。

平成30年度は、14回のイベントや出前講座を実施し、合計500名以上の学生に対し下水道の仕事紹介などを行いました。関東だけでなく、北海道、関西、九州でも趣旨に賛同いただいたメンバーにより活動が行われており、活動の輪は全国に広がっています。

また、Twitterを通じて、下水道事業の様々な話題を継続的に発信する取り組みにも力を入れています。

来年度もより一層活発な活動を行ってまいりますので、ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



水再生センター(処理場)の見学イベントを開催しました
(協力:東京都下水道局三河島水再生センター)



フォロー
お願いします!

<https://twitter.com/miraikai2>

お知らせ

第51回ミス日本コンテスト2018開催 ～「水の天使」に谷 桃子さんが選出～

1月21日(月)に、「第51回ミス日本コンテスト2019」が開催され、2019ミス日本「水の天使」に東京都出身の大学生、谷 桃子さんが選出されました(ミス着物もダブル受賞)。

谷さんは、第33期BSフジ学生キャスターを務めており、4月から日本テレビへの入社が決まっています。「報道に携わり、世の中を少しでも良くすること」が揺らぐ目標の谷さんは、中学高校と登山部に所属していたという山ガールです。

ミス日本「水の天使」は、水の広報官・外交官の役割を担い、日本全国の上下水道に係わるイベントや水に関する国際会議への傘下を通じて、世界に誇る日本の水の知恵と文化を伝える役割を担います。今後、多くの下水道イベントに登場しますので楽しみにしてください。

2月2日(土)には日産フィールド小机(横浜市)にて下水道健康駅伝大会が開催され、谷さんと歴代「水の天使」の浦底さん、須藤さんが参加しました。



お知らせ

第4回広報フォーラム開催 ～BtoC広報を学ぼう!～

GKPのプロジェクトの1つであるコミュニケーション研究会(コミュ研)では、GKP団体会員を対象に広報力(PR力)の向上を目的とした広報フォーラムを不定期で開催していますが、来る3月11日(月)に、第4回広報フォーラムを開催します。

今回の広報フォーラムでは、花王のESG(環境・社会・ガバナンス)活動を牽引されている金子洋平氏(ESG部門ESG活動推進部長)を講師にお招きし、「一緒にエコ」で顧客との接点を創る」をテーマに、同社が出前授業などを通して培った顧客とのコミュニケーション手法やBtoC広報のノウハウ、水負荷の低い商品開発や環境への取り組みなどについて語っていただきます。

対象は、GKP団体会員(1社につき3名まで)。お席に空きがあれば個人会員のお申し込みも受け付けております。広報・コミュニケーション活動を立案・実行する上で役立つ内容となっておりますので、ぜひともご参加ください。



国土交通省下水道部からの 愛のメッセージ



vol.15

はじめまして!国土交通省下水道企画課官民連携推進係長の今泉です。

昨年4月から下水道のPPP/PFI(官民連携)の推進という仕事をしています。色々難しいこともあります。自治体や民間、他省庁など色々な方々と関わることが多く楽しい仕事です。官民連携なので、GK-Boy(Gesui Kanmin Boy)なのでしょうか(?)

GKといえば、小さいころからサッカーのゴールキーパー(GK)をやっておりました。大学では週6でサッカーの練習や試合をやっており、運動は好きなのですが持久力はなく、先日の下水道駅伝では自分の走力の持続可能性の課題が浮き彫りになりました。

生まれは名古屋、中高時代は大阪で過ごし、大学から東京に住んで10年目に差し掛かるところでして、東京の地理にも詳しくなってきました。外見の特徴としては、色々な人に細長いと言われたりしています。

さて、私の取り組んでいるPPP/PFI、つまり官民連携についてです

が、導入する自治体は年々増えてはいるものの、何のことなのかわかりにくいイメージを持つ方もいらっしゃるかもしれません。PPP/PFIは短く説明すると「民間の資金や創意工夫を活用すること」でして、目的や状況に応じて本当に色々なやり方があります。自治体と民間の方々が官民連携してそれぞれの力を最大限発揮し課題解決できるよう皆様の取組を応援し、全国の下水道事業の持続可能性向上のため頑張っていきたいと思っています。そして皆様のお話を色々聞かせていただき、より良い取り組みのためこれからも勉強させていただきたいと思っています。

GJの皆様、下水道の官民連携でわからないことがあれば、どんな質問でも構いませんのでぜひお気軽にご連絡下さい!皆様の声をお待ちしております!(「げすいの窓口」で連絡先は検索下さい!) (下水道企画課係長 今泉)



筆者写真を元に加工

GJ Columnでは毎月皆さんに役立つちょっとした小ネタを紹介していきます。時間のある時に読んでみてください。皆さんの生活に下水道が少しでも近づいた気分になるかもしれません。



地下カン口さんが管理人を務めるブログ「YOUNG 下水道season2」に寄せられたコンテンツの中から、GJ Journal事務局がおススメの記事をご紹介します。



地下カン口さんの仲間 幹太さん

Profile

下水道と競馬とゲームを愛する風来坊(♂)。ブログ「YOUNG 下水道season2」に、定期的にコンテンツを更新中。下水道のトピックのみならず、あらゆるジャンルのよもやま話を掲載している。

じゅんかんサトイモ

先日サンプルとしていた、いた大きなサトイモを、昨夜煮付けて食べてみました。

下水汚泥で育てたというだけあって、市販のものよりはるかに大きく、本当に僕の握りこぶし大でしたわ。実直そうに育てた農家の方も、自信を持って大きいと言っていましたので、これはきっと本当に大きいんでしょね。

味は普通に美味しく、ほっこりねっとり炊けて、まあこれはネットのレシピのおかげかも知れませんが、気のせいかな。養もたっぷり入っていたと思います。

下水汚泥の効果は、改めてすごいと思いますね。下水道関係者の僕としては、下水汚泥はカリが少ないのでサツマイモのような根物に向かないと言われますから、サトイモは茎物なんだと思いますが、正しいかどうかは気になります。



実はサトイモは北海道での作付けが少ないので、北海道育ちの僕は子供の頃から馴染みがないのです。馴染み深いジャガイモは茎物で、きつと下水汚泥が効くような気がしますので、北海道の農家の方々にぜひ使って欲しいものです。



全国ご当地マンホール よろずマンホール Vol.17

熱海市(静岡県)のマンホール

熱海という思い浮かぶのは「お宮の松」。国道135号線沿いに面した「お宮の松」の脇には、「金色夜叉(尾崎紅葉)」でお馴染みの、「貫一お宮の像」、そして2017年に市制80周年を迎えたことを記念して設置されたマンホール蓋があります。

貫一がお宮を足蹴にして立ち去るハイライトシーンを再現したデザインで、貫一とお宮の背景には熱海の海岸とお宮の松、さらには熱海の名物である花火が描かれています。

「来年の今日の夜、この月を(涙で)曇らせて見せる」

報われぬ運命に心震わされる悲恋の物語。このマンホール蓋を見る度に、報われなかった恋を思い出してしまうかも?



vol.16 見つけちゃった! 下水道あんなニュース こんなニュース

ジワジワくる下水道の動画を見つけました ~「油・断・快適!下水道(東京都下水道局)」~

東京都下水道局では、油を断って快適な下水道にするため、お皿や鍋を洗う前に油汚れをふき取るなどのお願いをする「油・断・快適!下水道」キャンペーンを行っていますが、中毒性が高い下水道の動画があること、ご存知でしたか?

下水道の「見える化」を推進することを目的に東京都下水道局が実施した「下水DO!画コンテスト」にて優秀作品に選ばれた動画「油・断・快適!下水道」は、東京都職員が撮影・制作したもので、東京都下水道局のマスコットキャラクターのアースくんが、一度聴いたら忘れられなくなる「断、断、断」の歌に合わせて「下水道に油を流さないで」というメッセージを発信しています。

この動画は、東京動画庁内コンクールにも入賞作品としてノミネートされており、栄えある18作品のうち奨励賞に選出されました。

動画は東京都下水道局の公式サイトにてご覧いただけますが、そのほかにも雨天時の下水道管の中の様子がわかる動画や、汚泥処理の行程をわかりやすく紹介した動画等もご覧いただけます。



<http://www.gesui.metro.tokyo.jp/business/kanko/douga/gesuiDOga/index.html>

今週の表紙

表紙の写真は、広報施設「ワクワクアクア」がある入江崎水処理センター沈砂池管理棟のエントランスです。

3人の後ろにあるLEDのパネルディスプレイは自由にメッセージが表示でき、来館者へのウェルカムメッセージとして使用します。

今回は特別にこのメッセージを表示してもらいました(笑)。

